

MOS世界大会で5位

柳川高の堀内君 各国代表とも交流

市長へ報告

柳川市本城町、柳川高校（古賀賢校長）の商業科マイクロソフトコース三年、堀内翔君（17）が十三日、同市役所柳川庁舎を訪れ、日本代表として出場したマイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）世界学生大会の結果を金子健次市長に報告した。ワード2007部門で五位に入り、各国の代表と交流するなど貴重な体験だったという。



世界学生大会ワード部門で5位になった堀内君（左）

同大会には世界九十九カ国から延べ六十五万人、日本から延べ四万人の学生が参加。堀内君は日本代表に選ばれ、七月末から八月三日までアメリカのワシントンDCで行われた決勝戦に出場、決勝戦専用の試験を受けて点数を競い合った。「トップ10に入れるように」と臨み、試験が始まってからは緊張せず集中して自分の力を出すことができたという。三位内に入らなかった悔しさはあるが、「目標は達成できたのでうれしかった」と話した。高校卒業後は進学してさらに技術を磨き、その後はパソコン関連の仕事に就くことを目指す。

金子市長は堀内君の活躍を喜びながら「これを機に、いろんな形で頑張って活躍を」と期待を込め言葉を掛けていた。

（高田 裕子）